

ボーダレス Borderless

横坂源

チエロ・リサイタル
2026

ドビュッシー

月の光

フォーレ

夢のあとに op.7-1

チャイコフスキー

奇想的小品 op.62

ショパン

ノクターン第2番 変ホ長調 op.9-2

坂本龍一

星になった少年

レイン

戦場のメリークリスマス

ピアソラ

「タンゴの歴史」より

ボルデル1900

ナイトクラブ1960

クライスラー

愛の悲しみ

カプーステン

ニアリー・ワルツ op.98

ブルレスケ op.97

J.ウィリアムズ

シンドラーのリスト

ルグラン

「ロシュフォールの恋人たち」より

キャラバンの到着

モリコーネ

ニュー・シネマ・パラダイスメドレー

順不同

[ピアノ] 沼沢淑音

2026 **2.14** (土) 19:00開演 (18:20開場) **ザ・シンフォニーホール**

4,400円 (全席指定・税込)

主催：ザ・シンフォニーホール

〈ご予約・お問合せ〉 ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休) <https://www.symphonycorner.jp>

プレイガイド

■ e+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonycorner> (パソコン・携帯)

■ ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonycorner> [Lコード: 52409]

■ チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonycorner/> [Pコード: 306-759]

公演の
詳細については
こちら▶▶▶



※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。※公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承ください。

横坂源 ^{ボーダレス} Borderless

チェロ・リサイタル 2026

美しい響きを持つ、ザ・シンフォニーホールで演奏させていただけること、感謝申し上げます。

ボーダレスと題し、敬愛する坂本龍一氏の、映画音楽から珠玉の作品を取り入れた今回のプログラムは、私にとって新たなチャレンジです。

坂本さんの作品は個人的にどれも好きな作品ばかりで、幼い頃から幾度なく聴いてきましたが、ご本人にお会いさせていただいた際に、そのお人柄と作品がピタリと一致し、一瞬で心を奪われました。

また、平和への思いのもと様々な活動をされておられたこともとても印象に残っており、私自身も音楽が皆様に寄り添い、心に安らぎを感じていただけるよう大切に音を紡いでいけたらと思っています。

皆様にお会いできることを楽しみにしています。

横坂源

[チェロ] 横坂源 Gen Yokosaka, Cello

新潟市出身。桐朋学園女子高等学校(男女共学)を卒業後、ソリストディプロマ・コースを経て、シュトゥットガルト国立音楽大学、並びにフライブルク国立音楽大学で研鑽を積む。これまでに鷲尾勝郎、毛利伯郎、ジャン＝ギャン・ケラスの各氏に師事。2002年全日本ビバホール・チェロコンクール史上最年少で第1位。2005年出光音楽賞、2008年齋藤秀雄メモリアル基金賞、2010年ミュンヘン国際音楽コンクール第2位、2012年ホテルオークラ音楽賞など多数受賞。2009年には、全ドイツ学生音楽コンクール室内楽部門で第1位を受賞。豊かな音楽性やイメージネーションが卓抜したテクニックで表現され、「力強く、豊かで、円熟した音色、そして高い集中力と、何よりも情熱的で生き生きとした演奏」(ハレル・タグプロット)など、各誌で絶賛されている。13歳で東京交響楽団とサン＝サーンスのチェロ協奏曲共演を皮切りにソリストとしてデビュー。近年では、ドイツでWürth PhilharmonikerとS.スヴィリドフのチェロ協奏曲『つばき』の新作委嘱・世界初演と東京交響楽団(齋藤友香理指揮)との日本初演、日本フィルハーモニー交響楽団(山田和樹指揮)とは、M.ルグランのチェロ協奏曲の日本初演を果たした。2021年2月、NHK交響楽団(尾高忠明指揮)とショスタコーヴィチのチェロ協奏曲、2022年1月には、東京都交響楽団(尾高忠明指揮)とエルガーのチェロ協奏曲を協演。2023年には野平一郎指揮「三善晃:チェロ協奏曲第2番『餅つり星』」に取り組むなど、目覚ましい躍進を続けている。録音では、2024年11月発売の新譜「R.シュトラウス&ラフマニノフ(ピアノ:沼沢淑音)」ほか、2016年「J.S.バッハ:ガンパ・ソナタ集(ピアノ:藤井一興)」、2020年12月「シューマン&メンデルスゾーン(ピアノ:加藤洋之)」をリリースし、レコード芸術誌で特選盤に選ばれた。現在最も幅広い演奏活動を展開するチェリストの一人である。



©Sotaro Goto

[ピアノ] 沼沢淑音 Yoshito Numasawa, Piano

桐朋学園大学ソリスト・ディプロマを経てRMF奨学生としてモスクワ音楽院を卒業。これまでに杉安礼子、ウラジーミル竹の内、佐藤辰夫、辻井雅子、広瀬康、野島稔、M.カンディンスキー、E.ヴィルサラゼの各氏に師事。「素晴らしい輝かしいピアニストで私は彼の特別な繊細な感受性と音楽への献身に心動かされました」(マルタ・アルゲリッチ氏)と称賛される。若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール第3位、シュニッケ国際コンクール優勝、ケルン国際音楽コンクール第3位、ポリーニも過去に優勝した歴史ある第29回ポッツォーリ国際ピアノコンクールで優勝シタリア各地に招かれた。浜松国際ピアノコンクールで「ネルセシアン賞」[(公財)アルゲリッチ芸術振興財団賞]を受賞。アルゲリッチ氏より翌年の別府アルゲリッチ音楽祭に招かれ演奏。サントリーホール大ホールをはじめ日本国内各地、また国外においてもチャイコフスキーコンサートホール(露モスクワ)やFAZIOLIコンサートホール(伊サチーレ)等ロシア、イタリア、スペイン、ドイツ、フランス、ペラルーシ、中国等でリサイタル及び協奏曲、室内楽など多数演奏。室内楽のCDも多数リリースし、レコード芸術特選盤に選出されるなどしている。2024年4月より桐朋学園大学音楽部門准教授。

